

給電機能の種類

車載の給電装備			別売の外部給電器が必要		
種類	アクセサリコンセント	非常時給電システム	AC外部給電システム (ヴィークルパワーコネクター)	DC外部給電システム	
					
			プリウス PHV 接続イメージ	プリウス PHV V2H接続イメージ	
	給電能力	AC100V・1500W	AC100V・1500W	AC100V・1500W	DC6000～9000W (別売りの外部給電器からAC100Vを給電)
	クルマの状態	走行中および停車中※ (走行可能状態)	停車中 (走行機能停止状態)	停車中 (走行機能停止状態)	停車中 (走行機能停止状態)
コンセント搭載位置	車内	車内	車外	車外	
詳細	●走行中(停車中含む)に車内において、AC100Vで最大消費電力1500W以下の電気製品を使うときの電源として使用可能。	●災害などによる非常時に電力が必要なとき、 停車中(走行機能を停止した状態)に車内および車外において、AC100Vで最大消費電力1500W以下の電気製品を使うときの電源として使用可能。	●普通充電インレットにヴィークルパワーコネクターを接続することで、 停車中(走行機能を停止した状態)に車外において、AC100Vで最大消費電力1500W以下の電気製品を使うときの電源として使用可能。 ●バッテリーのみで給電する【EV給電モード】と、バッテリーのみで給電し、バッテリー残量が減るとエンジンがかかり給電を継続する【HV給電モード】からモード選択が可能。 ●防水カバーを備えるため、コンセント部を防水可能。	●災害時などの非常時に電力が必要なとき、 停車中(走行機能を停止した状態)に車外において、最大消費電力DC6000～9000W以下の大電力を供給可能。 ●DC(直流)電力をAC(交流)電力に変換する別売りの外部給電器が必要となる。 ●別売りの外部給電器はV2H (Vehicle to Home:クルマから家へ)、V2L (Vehicle to Load:クルマから電気製品へ)の2タイプがある。V2Hは建物の既存配線につなぎクルマと建物が双方向に送電できる「据置型」、V2Lでは持ち運びができ、クルマから電気製品へ単方向に給電する「可搬型」の外部給電器となる。	
	クルマから電気製品へ			クルマから電気製品へ (V2L機器を使用してより大きな電力を供給)	
電力の供給先	クルマから住宅へ (クルマde給電を使用して一部の居室へ)		クルマから住宅へ (V2H機器を使用して建物全体へ)	クルマから住宅へ (V2H機器を使用して建物全体へ)	

※車外で電気製品を使用するときや、災害などにより非常時に電力が必要な場合などには、非常時給電システムの使用をおすすめします。

クルマから取り出した電気は電気製品だけでなく家への供給も可能。

電気製品へ
大電力を供給

**HVからも住宅への給電が可能に。
14車種に対応。**

災害が多発する時代、大切な給電機能。だからこそ、コンパクト、セダン、SUVなど様々なクルマで、もしもの災害に備えることが可能です。

RAV4	RAV4 PHV	ハリアー	C-HR	ヤリス クロス
クラウン (3.5L車)	カムリ	プリウス	プリウスPHV	MIRAI
カローラ	カローラ ツーリング	カローラ スポーツ	ヤリス	※2021年7月現在登録予定

・アクセサリコンセント/非常時給電システム/AC外部給電システム ■消費電気の合計が1500W以下の電気製品をご使用ください。ただし、電気製品によっては消費電気の合計が1500W以内の容量でも正常に動作しない場合があります。 ■使用する電気製品の取扱書の注意事項に従ってご使用ください。 ■防水仕様の電気製品を除き、雨や水のかかる場所、湿気などの場所では電気製品を使用しないでください。 ■アerialの他の電気製品を使用するときは、アース線をアerial端子に接続してください。 ■車両の状態によっては、一時的に給電が停止することがあるため、医療機器などには使用しないでください。 ■電気製品の使用可能な周波数と車両の電源周波数を合わせてご使用ください。 ■一部地域では、駐車または停車中にエンジンを始動させた場合、条例に触れるおそれがあります。関係する自治体に確認した上で、適切にご使用ください。

・DC外部給電システム ■DCコンセントをご利用にならば、取り出したDC(直流)電力をAC(交流)に変換する売切りの「外部給電装置」が必要です。外部給電装置は一般社団法人自動車車両電力供給システム協会が発行する自動車動電力充電システムガイドライン(V2H DC版)またはV2L DC版)に準拠したものを「ご使用ください。外部給電装置の詳細については、火災や感電の取扱い説明書などをご確認ください。製造元へお問い合わせください。ガイドラインに準拠していない外部給電装置を使用すると火災や感電事故が発生し、重大な障害におよぶか、最悪の場合死亡事故につながるおそれがあります。 ■車両側の定格出力以上の電力を使用した場合、車両が給電を停止することがあります。 ■ベアメーカー(植込み型心臓ペースメーカー)/植込み型脳内室ペースンギングシステム)装着のお客様は、給電の操作が自身で影響を受けるおそれがあります。

・給電時、給電中は、外部給電機、給電ケーブルに近づかないでください。給電によるベアメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

・給電機等にもご使用されない場合 ■駆動電機の手荒れ減速などにより、自動でエンジンが動作する場合があります。地面が滑り平ら、かつ換気のいい場所で「ご使用ください。 ■車種によって給電の容量が異なる場合があります。 ■修理の内容は2021年2月現在のものです。

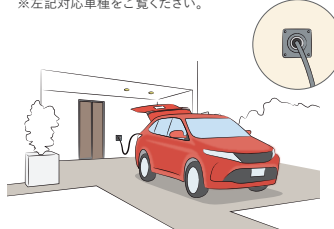
クルマde給電

非常時にクルマから住まいへ電力供給。

「クルマde給電」はトヨタホーム(株)の商品です
(別売:「クルマde給電」をご利用いただくには、専用
設備の設置工事が必要です。詳しくはトヨタホーム株式
会社【充電関連サポートデスク 0800-777-1152】まで
お問い合わせください。)

「クルマde給電」は住まい側に設置して、停電時にクルマ[※]と住まいを外部電源接続用ケーブルで繋ぐことにより、冷蔵庫や照明など、生活に必要な家電類へクルマから電力供給できるシステムです。

※左記対応車種をご覧ください。



AC外部給電システム

(ヴィークルパワーコネクター)



プリウス PHV 接続イメージ

DC外部給電システム



プリウス PHV V2H接続イメージ

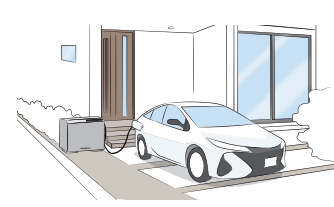
クルマから電気製品へ

(V2L機器を使用してより大きな電力を供給)

V2Hスタンド

クルマの充電と、住まいのエネルギーに。
クルマとつながるスマートライフを。

「V2H」とは「Vehicle to Home」の略で、電気自動車に充電するだけでなく、貯めた電気をご家庭で使用できるシステムです。例えば、停電や震災などで電力供給が寸断されてしまった場合でも、クルマから電力を取り出して、家の電力がまるごと復旧します。これからのスマートライフに欠かせない製品です。



V2L

外部給電器を持ち運びして
電気製品*1に給電。

可搬型給電器【パワー・ムーバー】
(AC100V・1500W、3個) *2*3
(別売:販売はニチコン株式会社)*4

トランクルームに収納できるキャスター付のトランクケースタイプです。車外で合計4500W*3の電力を電気製品*1に給電できます。外部給電による建物への電源供給(V2H: Vehicle to Home)には対応していません。



※1.使用する電気製品に付属の取扱書や、製品に記載されている注意事項を必ずお守りください。
※2.給電時にはアースの接地が必要です。
※3.1500Wコンセント3個使用で合計4500W以下の電気製品をご使用ください。ただし、4500W以下の電気製品でも正常に作動しない場合があります。※4.詳しくはニチコン株式会社【専用サポートデスク 0120-215-023】までお問い合わせください。

2